

別紙7 作業概要

- (※1) 作業担当者欄の凡例⇒◎: 主担当、○: 支援
- (※2) 作業項目については概要であり詳細は運用設計書及び運用手順書を参照すること。
- (※3) 障害の内容に該当する保守担当が作業を担当する。
- (※4) 作業頻度は、作業実施回数の上限を規定するものではない。

No.	作業項目(※2)	作業概要	作業担当者(※1)					作業頻度(※4)		
			システム運用・保守統括者	AP保守担当	HW/SW/NW保守担当	運用オペレータ	ヘルプデスク	本調達の受注者		
								システム運用・保守統括者	AP保守担当	
1	保守報告	AP保守担当、HW/SW/NW保守担当、運用オペレータ及びヘルプデスクは、保守報告資料を作成する。システム運用・保守統括者が取りまとめの上、記載内容等を検証した後、システム管理部門へ定期的に報告する。	◎	◎	◎	◎	◎	1回/週 1回/月	1回/週 1回/月	
2	システムの起動/停止	運用オペレータ及びAP保守担当は、システムメンテナンス時や緊急時にシステムの起動/停止順序に従って、システムを起動/停止する。HW/SW/NW保守担当は、システムの起動/停止作業の立ち会い及び作業時に発生するハード故障等の対応を実施する。システム運用・保守統括者は、システムの起動/停止の作業結果を確認して、システム管理部門へ報告する。	◎	◎	○	◎	-	2回/年(本番環境) 2回/年×47拠点(拠点サーバ) 1回/年×3サーバ(保守サーバ)  1回/年(検証環境)	全サーバ 1回/年  2回/年(本番環境) 2回/年×47拠点(拠点サーバ) 1回/年×3サーバ(保守サーバ)  個別対応 2~3回/月  1回/年(検証環境)	
3	稼働状況監視の相互引継ぎ	運用オペレータは、サーバ等設置センターでのシステム運用終了時に、HW/SW/NW保守担当へ稼働状況を引き継ぐ。HW/SW/NW保守担当は、サーバ等設置センターでのシステム運用開始前に、運用オペレータへ稼働状況を引き継ぐ。	-	◎	◎	◎	-	-	4回/月	
4	稼働状況監視(ジョブ監視以外)	監視	運用オペレータは、監視対象機器・ソフトウェア・アプリケーション・ネットワークに対し、稼働状況を監視する。	-	-	-	◎	-	-	-
5		障害切り分け	システム運用・保守統括者は、障害内容を基に、一次切り分けを実施後、障害の内容に該当する保守担当へ障害対応を依頼する。AP保守担当は、一次切り分けを支援する。	◎	○	-	-	-	60回程度/年	60回程度/年
6	稼働状況監視(ジョブ監視)	監視	運用オペレータは、ジョブの稼働状況を監視する。異常がなければ運用記録を残し監視を終了する。	-	-	-	◎	-	-	-
7		障害切り分け	システム運用・保守統括者は、障害内容を基に、一次切り分けを実施後、障害の内容に該当する保守担当へ障害対応を依頼する。AP保守担当は、一次切り分けを支援する。	◎	○	-	-	-	15回程度/年	15回程度/年
8	ウイルス定義ファイルの更新	入手	HW/SW/NW保守担当(本省サーバ)は、ウイルス管理サーバから、最新のウイルス定義ファイルを手りする。運用オペレータは、最新のウイルス定義ファイルの入手を支援する。	-	-	◎	○	-	-	-
9		配布状況確認	運用オペレータは、ウイルス管理サーバによるウイルス定義ファイルの配布状況を検査管理等で確認する。HW/SW/NW保守担当は、ウイルス定義ファイルの配布状況の確認を支援する。	-	-	○	◎	-	-	-
10	ウイルス検査	通知内容確認	運用オペレータは、ウイルス対策ソフトウェアのウイルス検知時のコンソール通知内容を確認する。	-	-	-	◎	-	-	-
11		調査・報告	運用オペレータは、ウイルス検査結果を取りまとめの上、システム管理部門へ報告する。	-	-	-	◎	-	-	-
12		調査・報告(感染時)	運用オペレータは、ウイルス検知時に、必要に応じてシステム運用・保守統括者、AP保守担当、HW/SW/NW保守担当に連絡する。システム運用・保守統括者は、ウイルス検知時にウイルスの種類や駆除に関する調査結果を取りまとめの上、記載内容等を検証した後、システム管理部門へ報告する。HW/SW/NW保守担当は、ウイルス検知時にウイルスの種類や駆除に関する調査を実施する。AP保守担当はウイルスの種類や駆除に関する調査の支援を実施する。	◎	○	◎	◎	-	5~10回程度/年	5~10回程度/年
13		対応処理(感染時)	HW/SW/NW保守担当は、システム運用・保守統括者からの対応指示に従い、対応処理(ネットワーク遮断など)を実施する。システム運用・保守統括者は、対応処理の管理及びシステム管理部門への対応結果報告を実施する。AP保守担当は、対応処理を支援し、サーバ切替等発生した場合には動作確認を実施する。	○	○	◎	-	-	原則発生しない	原則発生しない
14	不正侵入検知	通知内容確認	運用オペレータは、不正侵入保護装置が検知した事象を確認する。	-	-	-	◎	-	-	-
15		調査・報告	運用オペレータは、発生した事象を調査し、結果をシステム運用・保守統括者へ報告する。システム運用・保守統括者は、検知した事象の調査結果を確認して、システム管理部門へ報告する。AP保守担当は、検知事象調査作業を支援する。	◎	○	-	◎	-	1回/月	1回/月
16		対応処理	HW/SW/NW保守担当は、システム運用・保守統括者からの対応指示に従い、対応処理(ネットワーク遮断など)を実施する。システム運用・保守統括者は、対応処理の管理及びシステム管理部門へ対応結果を報告する。AP保守担当は、対応処理を支援する。	○	○	◎	-	-	原則発生しない	原則発生しない
17	不正侵入検知パターンの更新	更新情報の確認・検討	HW/SW/NW保守担当は、公開された検知パターン定義の更新情報を入力し、検知パターン定義の更新を検討する。	-	-	◎	-	-	-	-
18		更新作業実施	運用オペレータは、システム管理部門の指示に従い、不正侵入保護装置への検知パターンの更新を実施する。HW/SW/NW保守担当は、更新作業を支援する。	-	-	○	-	-	-	-
19	不正接続監視		運用オペレータは、本省サーバ等設置センターのオペレータLANセグメント及びヘルプデスクLANセグメントにおける不正接続を監視する。	-	-	-	◎	-	-	-
20	Web改ざん検知	通知内容確認	運用オペレータは、Web改ざん検知ソフトウェアが検知した事象を確認する。	-	-	-	◎	-	-	-
21		調査・報告	AP保守担当は、検知した事象の調査及び調査結果の確認を行い、システム管理部門へ報告する。HW/SW/NW保守担当及び運用オペレータは、検知した事象の調査及び調査結果の確認を支援する。	-	◎	○	○	-	-	1回/月
22		対応処理	運用オペレータは、システム管理部門からの対応指示に従い、対応処理を実施する。AP保守担当は、対応処理を支援する。	-	○	○	◎	-	-	原則発生しない

No.	作業項目(※2)	作業概要	作業担当者(※1)					作業頻度(※4)			
			システム運用・保守統括者	AP保守担当	HW/SW/NW保守担当	運用オペレータ	ヘルプデスク	本調達の受注者			
								システム運用・保守統括者	AP保守担当		
23	Web改ざん検知設定の調整	検知設定調整	HW/SW/NW保守担当は、Web改ざん検知設定を調整し、再設定した内容による改ざんチェックを実施する。運用オペレータは、Web改ざん検知設定調整、再設定した内容による改ざんチェック作業を支援する。	-	-	◎	○	-	-	-	-
24		適正確認	システム運用・保守統括者は、Web改ざん検知設定の適正を判断する。HW/SW/NW保守担当は、Web改ざん検知設定の適正判断を支援する。	◎	-	○	-	-	12回程度/年	-	-
25	クライアントの暗号化		HW/SW/NW保守担当は、モバイル端末の暗号化設定を実施する。	-	-	◎	-	-	-	-	-
26	検疫管理	対象項目規定	HW/SW/NW保守担当は、検疫監査対象項目を規定する。	-	-	◎	-	-	-	-	-
27		検疫監査情報設定	運用オペレータは、検疫監査情報を設定する。HW/SW/NW保守担当は、検疫監査情報の設定を支援する。システム運用・保守統括者は、検疫監査情報の設定作業を管理する。	○	-	-	◎	-	1回程度/日	-	-
28		検疫実行結果確認	運用オペレータは、検疫管理サーバの検疫実行結果を確認する。HW/SW/NW保守担当は、検疫実行結果確認を支援する。システム運用・保守統括者は、検疫実行結果の確認作業を管理する。	○	-	-	◎	-	1回程度/日	-	-
29	セキュリティ監査	監査・報告	運用オペレータは、セキュリティ監査ツールを実行し、システム運用・保守統括者へ実行結果を報告する。システム運用・保守統括者は、セキュリティ監査の実行結果を確認してシステム管理部門へ報告する。	◎	-	-	◎	-	1回/月	-	-
30		問題点の確認	システム運用・保守統括者は、セキュリティ監査で問題が発生した場合、緊急対応が必要か否かを判断する。	◎	-	-	-	-	1回/月	-	-
31		結果の保管	運用オペレータは、セキュリティ監査の実行結果をレポート出力し所定のフォルダに格納する。	-	-	-	◎	-	-	-	-
32	セキュリティ監査のチェック項目の見直し	セキュリティチェック項目規定	HW/SW/NW保守担当は、セキュリティチェック項目を規定する。	-	-	◎	-	-	-	-	-
33		セキュリティチェック項目設定	運用オペレータは、チェック項目を設定し、再設定したチェック項目による検査を実施する。AP保守担当は、チェック項目の設定、再設定したチェック項目の検査を支援する。	-	○	-	◎	-	-	1回程度/年	-
34		適正確認	システム運用・保守統括者は、セキュリティチェック項目の適正を判断する。HW/SW/NW保守担当は、セキュリティチェック項目の適正判断を支援する。	◎	-	○	-	-	1回程度/年	-	-
35	暗号化データの運用	引き渡し	運用オペレータは、外部連携先へ引き渡すデータを適用徴収システムから抽出し、暗号化して媒体(DVD等)に書き込み後、媒体(DVD等)をシステム管理部門へ提出する。	-	-	-	◎	-	-	-	-
36		受領	運用オペレータは、適用徴収システムに引き渡されたデータが書き込まれた媒体(DVD等)をシステム管理部門より受領し、媒体(DVD等)のデータを復号化する。運用オペレータは、データを適用徴収システムに反映後、媒体(DVD等)をシステム管理部門へ返却する。	-	-	-	◎	-	-	-	-
37	ログファイルの監視	監視	運用オペレータは、障害イベントの通知状況を監視する。	-	-	-	◎	-	-	-	-
38		障害切り分け	システム運用・保守統括者は、障害内容を基に、一次切り分けを実施後、障害の内容に該当する保守担当へ障害対応を依頼する。AP保守担当は、一次切り分けを支援する。	◎	○	-	-	-	1,100件/年	1,100件/年	-
39	ログファイルの管理	不要ログのバックアップ、削除・縮小	運用オペレータは、不要となったログファイルのバックアップを取得し、削除・縮小する。AP保守担当は、不要となったログファイルの削除・縮小を支援する。	-	○	-	◎	-	-	1回/週	-
40		ログ管理	運用オペレータは、システム管理部門からのログ参照・検索の作業指示書を基に、蓄積されたログファイルを検索し、結果を報告する。AP保守担当は、蓄積されたログファイルの検索、結果報告を支援する。システム運用・保守統括者は、ログファイルの管理作業を管理する。	○	○	-	◎	-	1回/週	1回/週	-
41	時刻同期		HW/SW/NW保守担当は、サーバ、クライアント端末、運用管理端末、汎用OCR用操作端末及びOCR用管理端末に対する時刻同期の設定を実施する。運用オペレータは、サーバ、端末に対する時刻同期を確認する。	-	-	◎	◎	-	-	-	-
42	バックアップ	データベース	運用オペレータは、ジョブによる自動実行結果を確認する。	-	-	-	◎	-	-	-	-
43		バッチ処理データファイル	AP保守担当は、再処理に必要なバッチ処理データファイルを対象に、バッチ処理開始前にバックアップを取得する。	-	◎	-	-	-	-	6回程度/月	-
44		永年保存データファイル	運用オペレータは、年度末決算処理終了後に作成された永年保存データファイルのバックアップを取得する。	-	-	-	◎	-	-	-	-
45		業務データファイル・ログファイル	運用オペレータは、ジョブによる自動実行結果を確認する。	-	-	-	◎	-	-	-	-
46		公開データファイル	運用オペレータは、適用徴収システムと適用事業場公開サーバ間の受け渡しに使用する媒体(DVD)を保管する。	-	-	-	◎	-	-	-	-
47		ソフトウェア(外部共有ディスク/サーバ内蔵ディスク)	HW/SW/NW保守担当は、ソフトウェアの初期導入時とオペレーティングシステムレベルアップ、セキュリティパッチ適用等のソフトウェア変更時にバックアップを取得する。	-	-	◎	-	-	-	-	-
48		ソフトウェア(クライアント内蔵ディスク)	HW/SW/NW保守担当は、初期導入時に作成したクライアント初期設定用ディスクイメージを保管する。	-	-	◎	-	-	-	-	-
49		業務アプリケーション環境	AP保守担当は、業務アプリケーションの初期導入時と保守作業等の変更時にバックアップを取得する。	-	◎	-	-	-	-	50回程度/年	-
50		システムデータファイル	HW/SW/NW保守担当は、年次更新前に、既存の媒体を使用してシステムデータのフルバックアップを取得する。本作業の実施日は業務室担当者と調整の上、手動にて実行する。	-	-	◎	-	-	-	-	-
51	資産管理		運用オペレータは、資産情報を一元管理する。また、収集した情報(サーバ、運用管理端末、ヘルプデスク端末、クライアント端末及び汎用OCR用操作端末から、各種ハードウェアの情報や導入されているアプリケーションプログラム及びOSのバージョン等ソフトウェアに関する情報を収集したもの)と情報資産台帳の情報との突合検査を実施する。	-	-	◎	◎	-	-	-	-
52	セキュリティパッチ及び更新プログラムの入手、配布・適用	入手	HW/SW/NW保守担当は、配布元ベンダーに問合せ、ソフトウェアに関連する最新のセキュリティパッチ及び更新プログラム(OS・JRE等)を入手する。AP保守担当は、適用による業務影響を調査し、システム運用・保守統括者に調査結果を報告する。システム運用・保守統括者は、ソフトウェアに関連する最新のセキュリティパッチ及び更新プログラムの適用についてシステム管理部門と協議する。	◎	◎	◎	-	-	5件程度/月	1件程度/月	-
53		動作確認	HW/SW/NW保守担当は、セキュリティパッチ及び更新プログラム(OS・JRE等)等を検証環境に適用する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。システム運用・保守統括者は、セキュリティパッチ及び更新プログラムの適用及び動作確認作業を管理する。	○	◎	◎	-	-	5件程度/月	1件程度/月	-

No.	作業項目(※2)		作業概要	作業担当者(※1)					作業頻度(※4)	
				システム運用・保守統括者	AP保守担当	HW/SW/NW保守担当	運用オペレータ	ヘルプデスク	本調達の受注者	
									システム運用・保守統括者	AP保守担当
54	配布・適用		HW/SW/NW保守担当は、セキュリティパッチ及び更新プログラム(OS・JRE等)を配布・適用する。AP保守担当は、セキュリティパッチ及び更新プログラムの配布・適用を支援する。	-	○	◎	-	-	-	1回程度/月
55	アプリケーションの機能追加調査や運用に係る調査		AP保守担当は、システム管理部門より改修依頼(影響調査依頼)があった場合、改修内容について影響範囲、修正箇所、作業量等を調査し、見積りやスケジュールを作成し、回答する。 システム運用・保守統括者は、システム管理部門より調査依頼(調査確認依頼)があった場合、システム運用について、影響範囲等を調査し、回答する。	◎	◎	-	-	-	12回程度/月	5回程度/月
56	アプリケーションの修正	プログラム修正	AP保守担当は、システム管理部門より許可を得た最新プログラムソースを自社開発環境に導入し、アプリケーションプログラムの修正を実施する。	-	◎	-	-	-	別紙2に示す応札者(参加表明事業者)に開示する資料のうち、「その他関係資料-変更・追加予定機能一覧」を参照のこと。	
57		単体テスト	AP保守担当は、修正したアプリケーションプログラムの機能が要求事項を満たすことの動作確認を、自社開発環境にて実施する。システム運用・保守統括者は、確認結果を取りまとめの上、システム管理部門へ報告する。	○	◎	-	-	-		
58		結合テスト	AP保守担当は、修正したアプリケーションプログラムの機能と、修正対象外の機能を組み合わせたアプリケーションの動作確認を、自社開発環境にて実施する。システム運用・保守統括者は、確認結果を取りまとめの上、システム管理部門へ報告する。	○	◎	-	-	-		
59		総合テスト	AP保守担当は、修正したアプリケーションプログラムを検証環境に導入し、動作確認を実施する。システム運用・保守統括者は、確認結果を取りまとめの上、システム管理部門へ報告する。	○	◎	-	-	-		
60		受入テスト支援	AP保守担当は、システム管理部門が実施するアプリケーションにおける受入テストを支援する。	-	◎	-	-	-		
61	アプリケーションの配布	配布	AP保守担当は、改修したアプリケーションプログラムを本番環境へ配布する。システム運用・保守統括者は、本番環境への配布作業を管理する。	○	◎	-	-	-	5回程度/月	5回程度/月
62	アプリケーションの配布、適用	資源統合調査・作業	AP保守担当は、資源統合前に統合による全システムに対する影響調査を行う。また、この影響調査は、プログラムの観点以外に、全ての設計書、各種マニュアル、ミドルウェア、ハードウェア等のすべての資源を対象に実施する。AP保守担当は、改修対応事業者の資源、瑕疵対応事業者の資源、又はその両資源について、資源の統合作業を実施するとともに、その統合結果の確認テストを実施する。最新の資源を各設計開発業者へ提供する場合には、資源に対する変更点提示等を支援する。システム運用・保守統括者は、資源統合の調査及び資源統合作業を管理し、システムの品質を保証する。	○	◎	-	-	-	5件程度/月	5件程度/月
63	カレンダー登録	投入データ作成	AP保守担当は、作業指示書を基に、投入データを作成し、ドキュメントの更新・レビューを行う。システム運用・保守統括者は、投入データ作成作業を管理する。	○	◎	-	-	-	1回/年×2 (検証環境・本番環境)	1回/年×2 (検証環境・本番環境)
64		動作確認	AP保守担当は、投入データを検証環境に投入し、事前の動作確認を実施する。システム運用・保守統括者は、検証環境での事前動作確認作業を管理する。	○	◎	-	-	-	1回/年×2 (検証環境・本番環境)	1回/年×2 (検証環境・本番環境)
65		本番環境へのデータ投入	運用オペレータは、作業依頼書を基に検証環境での検証に問題がなければ、本番環境に投入データを投入する。また、作業報告書を作成し、システム管理部門に提出する。システム運用・保守統括者は、本番環境へのデータ投入作業を管理する。	○	-	-	◎	-	1回/年×2 (検証環境・本番環境)	-
66	ジョブ登録・変更・削除	投入データ作成	AP保守担当は、作業指示書を基に、投入データを作成する。システム運用・保守統括者は、投入データ作成作業を管理する。	○	◎	-	-	-	1回/年×2 (検証環境・本番環境)	1回/年×2 (検証環境・本番環境)
67		動作確認	AP保守担当は、投入データを検証環境に投入し、事前の動作確認を実施する。システム運用・保守統括者は、検証環境での事前動作確認作業を管理する。	○	◎	-	-	-	1回/年×2 (検証環境・本番環境)	1回/年×2 (検証環境・本番環境)
68		本番環境へのデータ投入	運用オペレータは、作業依頼書を基に検証環境での検証に問題がなければ、本番環境にデータを投入する。また、作業報告書を作成し、システム管理部門に提出する。システム運用・保守統括者は、本番環境へのデータ投入作業を管理する。	○	-	-	◎	-	1回/年×2 (検証環境・本番環境)	-
69	ジョブ定義情報管理		AP保守担当は、ジョブ定義変更がある場合、ドキュメントの更新・レビューや動作検証を実施する。システム運用・保守統括者は、ジョブ定義変更がある場合、ドキュメントの更新作業及び動作検証作業の内容を確認する。	○	◎	-	-	-	1回/年×2 (検証環境・本番環境)	1回/年×2 (検証環境・本番環境)
70	媒体管理		運用オペレータは、媒体の使用期間の管理、保管、廃棄を実施する。HW/SW/NW保守担当は、年次バックアップ終了後にバックアップ媒体の交換を行い、新しいバックアップ媒体が使用可能であることを確認する。なお、RSシステムサーバのバックアップ媒体の交換は労働局システム担当者にて実施する。	-	-	◎	◎	-	-	-
71	媒体の外部保管運用	週次	運用オペレータは、データベースのデータとログ情報を媒体(LTO)へ出力し、システム運用管理者へ引き渡して遠隔地施設へ保管する。システム運用・保守統括者は、媒体の外部保管作業を管理する。	○	-	-	◎	-	1回程度/週	-
72		月次	AP保守は、データベースのデータを媒体(LTO)へ、プログラムソースと設計書ドキュメントを媒体(DVD)へ出力し、運用オペレータを通じてシステム運用管理者へ引き渡して遠隔地施設へ保管する。	○	◎	-	◎	-	1回程度/月	1回程度/月
73	外部連携処理における媒体の受け渡し		運用オペレータは、適用徴収システム内データの媒体への出力、媒体内データの適用徴収システムへの反映を実施する。	-	-	-	◎	-	-	-
74	サーバ証明書申請・登録の追加		HW/SW/NW保守担当は、システム管理部門が入手したサーバ証明書を適用徴収システムに登録する。AP保守担当は、サーバ証明書の適用徴収システムへの登録を支援する。システム運用・保守統括者は、サーバ証明書申請・登録作業の結果確認を管理する。	○	○	◎	-	-	1回程度/年	1回程度/月
75	データベース管理	データベース断片化対応	AP保守担当は、データベースの断片化監視を行い、必要に応じて再編成を実施する。システム運用・保守統括者は、データベースの断片化監視、再編成の作業を管理する。	○	◎	-	-	-	12回程度/年	12回程度/年
76		データ整理	運用オペレータは、保存期間経過後データの削除結果を確認する。	-	-	-	◎	-	-	-
77	障害一次対応(通常時)	検知・受付	運用オペレータは、障害を検知する。ヘルプデスクは、システム利用者からの受付を実施する。システム運用・保守統括者は、障害の検知、システム利用者からの受付作業を管理する。	○	-	-	◎	◎	ログ監視アラート検知件数:250件/年 ヘルプデスク受付件数:750件/年	-
78		障害切り分け	システム運用・保守統括者は、障害、機器故障の一次切り分けを行い、システム管理部門へ報告する。AP保守担当は、一次切り分けを支援する。	◎	○	-	-	-	550件程度/年	550件程度/年
79		障害復旧作業	障害の内容に該当するAP保守担当、HW/SW/NW保守担当は、二次対応が必要ない障害の場合の復旧作業や、二次対応が必要な障害の場合の緊急措置等を実施する。運用オペレータは、AP保守担当、HW/SW/NW保守担当の復旧作業や緊急措置等を支援する。	◎	◎ (※3)	◎ (※3)	○	-	550件程度/年	550件程度/年
80		報告	システム運用・保守統括者は、障害復旧結果を取りまとめの上、報告内容等を検証した後、システム管理部門へ報告する。	◎	-	-	-	-	100件程度/年	-
81	障害一次対応(夜間、休日) ※リモート監視	障害検知	HW/SW/NW保守担当は、障害の検知内容をシステム運用・保守統括者、AP保守担当、運用オペレータ及びシステム管理部門へ報告する。システム運用・保守統括者、AP保守担当、運用オペレータ及びシステム管理部門は、障害の内容を確認する。システム運用・保守統括者は、障害の検知を管理する。	○	○	◎	○	-	4件程度/年 ※夜間・休日対応	4件程度/年 ※夜間・休日対応

No.	作業項目(※2)	作業概要	作業担当者(※1)					作業頻度(※4)	
			システム運用・保守統括者	AP保守担当	HW/SW/NW保守担当	運用オペレータ	ヘルプデスク	本調達の受注者	
								システム運用・保守統括者	AP保守担当
82	障害切り分け	システム運用・保守統括者は、障害、機器故障の一次切り分けを行い、AP保守担当、HW/SW/NW保守担当への連絡及びシステム管理部門への報告を行う。AP保守担当は、一次切り分けを支援する。	◎	○	-	-	-	4件程度/年 ※夜間・休日対応	4件程度/年 ※夜間・休日対応
83	障害復旧作業	障害の内容に該当するAP保守担当、HW/SW/NW保守担当は、二次対応が必要ない障害の場合の復旧作業や、二次対応が必要な障害の場合の緊急措置等を実施する。運用オペレータは、AP保守担当、HW/SW/NW保守担当の復旧作業や緊急措置等を支援する。	-	◎(※3)	◎(※3)	○	-	-	4件程度/年 ※夜間・休日対応
84	報告	システム運用・保守統括者は、障害復旧結果を取りまとめの上、報告内容等を検証した後、システム管理部門へ報告する。	◎	◎	-	-	-	4件程度/年 ※夜間・休日対応	4件程度/年 ※夜間・休日対応
85	障害二次対応	障害の内容に該当するAP保守担当、HW/SW/NW保守担当は、障害の解析、対応方針を検討し、協議が必要であると判断した場合、システム運用・保守統括者、システム管理部門と協議する。システム運用・保守統括者は、障害解析結果や対応方針の結果を確認する。	○	◎(※3)	◎(※3)	-	-	550件程度/年	550件程度/年
86	動作確認	障害の内容に該当するAP保守担当、HW/SW/NW保守担当は、検証環境等を使用し、検証作業を実施する。運用オペレータは、AP保守担当、HW/SW/NW保守担当の検証作業を支援する。システム運用・保守統括者は、動作確認作業を管理する。	○	◎(※3)	◎(※3)	○	-	550件程度/年	550件程度/年
87	障害復旧作業	障害の内容に該当する保守担当は、本番環境に対する復旧作業を実施する。運用オペレータは、AP保守担当、HW/SW/NW保守担当の復旧作業を支援する。システム運用・保守統括者は、障害復旧作業を管理する。	○	◎(※3)	◎(※3)	○	-	550件程度/年	550件程度/年
88	報告	システム運用・保守統括者は、障害復旧結果を取りまとめの上、報告内容等を検証した後、システム管理部門へ報告する。	◎	-	-	-	-	550件程度/年	-
89	ユーザ/アカウント登録・変更・削除・有効化(個別)	適用取システムユーザ情報登録・変更・削除・有効化(個別)	-	-	-	◎	-	-	-
90	ドメイン認証アカウント登録・削除・有効化(個別)	ドメイン認証システムユーザ情報登録・変更・削除・有効化(個別)	-	-	-	◎	-	-	-
91	ユーザ情報/アカウント登録・変更・削除・有効化(一括)	適用取システムユーザ情報登録・変更・削除・有効化(一括)	-	-	-	◎	-	-	-
92	RSシステムユーザ情報登録・変更・削除・有効化(一括)	RSシステムユーザ情報登録・変更・削除・有効化(一括)	-	-	-	◎	-	-	-
93	ドメイン認証アカウント登録・削除・有効化(一括)	ドメイン認証システムユーザ情報登録・変更・削除・有効化(一括)	-	-	-	◎	-	-	-
94	適用取システムユーザ情報の権限変更	動作確認	◎	-	-	-	-	6回程度/年	-
95	本番環境へのデータ投入	運用オペレータは、データを本番環境に投入し、動作確認を実施する。システム運用・保守統括者は、本番環境へのデータ投入作業を管理する。	○	-	-	◎	-	6回程度/年	-
96	ログイン証跡抽出	AP保守担当は、必要に応じて取システム認証結果やパスワードの変更情報等を、ログインの証跡として検索と抽出作業を実施する。システム運用・保守統括者は、ログイン証跡の抽出作業を管理する。	○	◎	-	-	-	6回程度/年 3回程度/年×47局	6回程度/年 3回程度/年×47局
97	適用取システムユーザID/パスワード忘れ対応	ユーザIDファイルコピー	-	-	-	-	◎	-	-
98	ユーザパスワードの初期化	運用オペレータは、送付された「ユーザIDファイル」の内容を目視確認後、本番環境において、適用取システムのユーザパスワード初期化を実施する。また、結果をコピーした「パスワード初期化完了ファイル」をヘルプデスクへ送付する。	-	-	-	◎	-	-	-
99	初期化結果の通知	ヘルプデスクは、送付された「パスワード初期化完了ファイル」の内容をサイト管理者に送付する。	-	-	-	-	◎	-	-
100	適用取システムユーザロックの解除	ユーザIDの記入	-	-	-	-	◎	-	-
101	ユーザロック解除	運用オペレータは、送付されたユーザIDを目視確認後、本番環境において、ユーザロック解除を実施する。	-	-	-	◎	-	-	-
102	ロック解除結果の通知	ヘルプデスクは、ユーザロック解除完了をサイト管理者に通知する。	-	-	-	-	◎	-	-
103	ドメイン認証アカウント/パスワード忘れ対応	アカウントの記入	-	-	-	-	◎	-	-
104	アカウントパスワードの初期化	運用オペレータは、送付されたアカウントを目視確認後、本番環境において、アカウントパスワード初期化を実施する。また、結果をヘルプデスクへ通知する。	-	-	-	◎	-	-	-
105	初期化結果の通知	ヘルプデスクは、アカウントパスワード初期化完了をサイト管理者に通知する。	-	-	-	-	◎	-	-
106	ドメイン認証アカウントロック解除	アカウントの記入	-	-	-	-	◎	-	-
107	アカウントロック解除	運用オペレータは、送付されたアカウントを目視確認後、本番環境において、アカウントロック解除を実施する。また、結果をヘルプデスクへ通知する。	-	-	-	◎	-	-	-
108	ロック解除結果の通知	ヘルプデスクは、アカウントロック解除完了をサイト管理者に通知する。	-	-	-	-	◎	-	-
109	オンライン閉塞のバッチ起動スケジュール変更	運用オペレータは、作業指示書を基に、本番環境でのバッチ起動スケジュールの変更を実施する。システム運用・保守統括者は、オンライン閉塞のバッチ起動スケジュール変更作業を管理する。	○	-	-	◎	-	1回程度/年	-
110	オンライン時間中の個別業務機能閉塞対応(業務機能閉塞)	投入データ作成	○	◎	-	-	-	1回程度/年	1回程度/年
111		動作確認	○	◎	-	-	-	1回程度/年	1回程度/年
112		本番環境へのデータ投入	○	-	-	◎	-	1回程度/年	-
113	マスタメンテナンス	投入データ作成	○	◎	-	-	-	20回程度/年	20回程度/年

No.	作業項目(※2)	作業概要	作業担当者(※1)					作業頻度(※4)	
			システム運用・保守統括者	AP保守担当	HW/SW/NW保守担当	運用オペレータ	ヘルプデスク	本調達の受注者	
								システム運用・保守統括者	AP保守担当
114	動作確認	AP保守担当は、検証環境にデータを投入し、動作確認を実施する。システム運用・保守統括者は、動作確認作業を管理する。	○	◎	-	-	-	20回程度/年	20回程度/年
115	本番環境へのデータ投入	運用オペレータはデータ投入前にマスタメンテナンステーブルのバックアップを取得し、本番環境にデータを投入する。システム運用・保守統括者は、本番環境へのデータ投入作業を管理する。	○	-	-	◎	-	20回程度/年	-
116	メンテナンスデータの修復	バックアップデータ準備	○	-	-	◎	-	20回程度/年	-
117	本番環境へのデータ投入	運用オペレータは、本番環境にフルバックアップデータを投入する。システム運用・保守統括者は、本番環境へのデータ投入作業を管理する。	○	-	-	◎	-	2回程度/年	-
118	技術質問に対する回答	対応依頼	○	○	○	◎	◎	475件程度/年	475件程度/年
119	検討・回答	AP保守担当、HW/SW/NW保守担当は、問合せへの回答を検討し、システム運用・保守統括者を通じて質問依頼元(運用オペレータ又はヘルプデスク)に回答内容を伝える。システム運用・保守統括者は、技術質問の回答状況を管理する。	○	◎	-	-	-	475件程度/年	475件程度/年
120	機器への予防保全の適用	HW/SW/NW保守担当は、作業計画を策定し、全体調整が必要な場合はシステム管理部門へ、全体調整が必要でない場合はサイト管理者へ提出する。個々の具体的な作業日程については、局署のサイト管理者と調整する。作業を実施し、システム管理部門又はサイト管理者に作業報告書を提出する。システム運用・保守統括者は、機器への予防保全の適用作業を管理する。	○	-	◎	-	-	9回程度/年	-
121	ヘルプデスクへの連絡	内容把握・連絡	◎	-	-	-	-	2回程度/週	-
122	周知	ヘルプデスク責任者は、ヘルプデスク担当者に周知内容を説明し、情報を共有する。また、システム利用者へ周知内容を連絡する。	-	-	-	-	◎	-	-
123	ヘルプデスクからの報告	報告	-	-	-	-	◎	-	-
124	内容把握	システム運用・保守統括者は、報告事項の内容を把握し、報告内容等を検証した後、システム管理部門へ報告する。	◎	-	-	-	-	2回程度/週	-
125	ヘルプデスク利用者向けFAQのメンテナンス・公開	作成	-	-	-	-	◎	-	-
126	登録	運用オペレータは、システム管理部門より依頼を受け、FAQファイルをポータルサーバの公開フォルダに格納する。	-	-	-	◎	-	-	-
127	ヘルプデスク内FAQのメンテナンス・公開	ヘルプデスクは、ヘルプデスクに必要なFAQを、管理手順を含めて作成、運用する。	-	-	-	-	◎	-	-
128	インシデント管理	報告	○	◎	◎	-	-	1,100件/年	1,100件/年
129	管理	ヘルプデスクは、システム管理部門から承認されたインシデント情報を取りまとめの上、管理する。システム運用・保守統括者は、インシデント対応状況を管理する。	○	-	-	-	◎	1,100件/年	-
130	現行事業者からの引継ぎ	AP保守担当、運用オペレータ、ヘルプデスク及びHW/SW/NW保守担当、システム運用・保守統括者は、保守作業に関して、現行の業務に支障をきたさないように調整の上、引継ぎ事項を提示し、現行事業者から主体的に引き継ぐ。システム運用・保守統括者は、引継ぎ内容を管理する。	○	◎	◎	◎	◎	1回	1回
131	改修対応事業者からの引継ぎ	AP保守担当、運用オペレータ、ヘルプデスクは、作業追加/変更/修正(瑕疵対応)が発生する場合、現行の業務に支障をきたさないように調整し、また改修対応事業者の開発の進捗に支障をきたさないように調整の上、改修対応事業者から主体的に引き継ぐ。システム運用・保守統括者は、引継ぎ内容を管理する。	○	◎	-	◎	◎	10回程度/年	10回程度/年
132	次期事業者への引継ぎ	AP保守担当、HW/SW/NW保守担当、運用オペレータ及びヘルプデスク、システム運用・保守統括者は、引継ぎ事項を提示し、次期事業者へ主体的に引き継ぐ。システム運用・保守統括者は、引継ぎ内容を管理する。	○	◎	◎	◎	◎	1回	1回
133	移行支援	システム運用・保守統括者、AP保守担当、HW/SW/NW保守担当及びヘルプデスクは、システム移行時において、システム関連事業者からの問合せ及び支援依頼に対応する。	◎	◎	◎	◎	◎	1回	1回
134	運用業務習熟	運用オペレータは、システム切替が発生する場合、システム切替までの期間に検証環境又は本番環境での運用業務の習熟及び各種ドキュメントの確認を行い、研修実施結果をシステム管理部門に報告する。	-	-	-	◎	-	-	-
135	モバイル端末のウイルス定義ファイル更新	入手	-	-	◎	-	-	-	-
136	配布	運用オペレータはウイルス定義ファイルのモバイル機器管理者用クライアント端末への自動配布の状況を監視する。	-	-	-	◎	-	-	-
137	モバイル端末のセキュリティパッチ及び更新プログラムの更新	入手	-	-	◎	-	-	-	-
138	動作確認	HW/SW/NW保守担当は、セキュリティパッチ及び更新プログラムのマスタ媒体(CD)を作成し、検証環境に適用する。AP保守担当は、動作確認を実施する。システム運用・保守統括者は、セキュリティパッチ及び更新プログラムの動作確認作業を管理する。	○	◎	◎	-	-	1回程度/月×検証環境	1回程度/月×検証環境
139	配布・適用	モバイル機器管理者はセキュリティパッチ、更新プログラムをモバイル端末へ配布・適用する。	-	-	-	-	-	-	-
140	モバイル端末の機器故障時対応	通知内容確認	-	-	-	-	◎	-	-
141	調査・報告	システム運用・保守統括者は、モバイル端末の機器故障に関する状況を管理し、システム管理部門へ報告する。HW/SW/NW保守担当は、モバイル端末の機器故障に関する調査を実施する。	◎	-	◎	-	-	1回程度/月×(47拠点+本省)	-
142	モバイル端末の時刻調整	HW/SW/NW保守担当は、定期保守時に時刻調整を実施する。	-	-	◎	-	-	1回程度/年	-
143	モバイル端末のウイルス検知時対応	通知内容確認	◎	-	-	-	◎	3回程度/日×(47拠点+本省)	-
144	調査・報告	システム運用・保守統括者は、モバイル端末のウイルス検知及び駆除に関する状況を管理し、システム管理部門へ報告する。HW/SW/NW保守担当は、モバイル端末のウイルス検知時にウイルスの種類や駆除に関する調査を実施する。	◎	-	◎	-	-	3回程度/日×(47拠点+本省)	-

No.	作業項目(※2)	作業概要	作業担当者(※1)					作業頻度(※4)		
			システム運用・保守統括者	AP保守担当	HW/SW/NW保守担当	運用オペレータ	ヘルプデスク	本調達の受注者		
								システム運用・保守統括者	AP保守担当	
145	モバイル端末のユーザ情報管理	ユーザ登録・更新・削除	モバイル機器管理者は、モバイル端末へユーザの登録・更新・削除を実施する。	-	-	-	-	-	-	
146		ユーザID/パスワード忘れ対応	モバイル機器管理者は、モバイル端末に登録されたユーザのパスワード忘れ時の対応を実施する。	-	-	-	-	-	-	
147	モバイル端末へのアプリケーションの配布	動作確認	AP保守担当は、改修したアプリケーションプログラムを検証環境に適用し、動作確認を実施する。	-	◎	-	-	-	1件程度/月	
148		配布	アプリケーション保守業者は、改修したアプリケーションプログラムを配布用ソフトウェアに登録する。モバイル機器管理者は、クライアント端末とモバイル端末をUSBデータ転送ケーブルで接続し、最新のプログラムを入手する。	-	◎	-	-	-	1件程度/月	
149	マシン運用管理	本番環境	運用オペレータは、本番環境の利用状況を把握し、スケジュールを調整する。その結果をシステム管理部門に報告する。	-	◎	-	◎	-	1回程度/日	
150		検証環境	システム運用・保守統括者は、検証環境の利用状況を把握し、スケジュールを調整する。その結果をシステム管理部門に報告する。	◎	◎	-	-	-	2回程度/週	
151	共有フォルダ利用ユーザ又はRSシステムグループの追加・変更・削除	運用オペレータは、共有フォルダ利用ユーザ又はRSシステムグループの追加・変更・削除設定の依頼を受ける。依頼を受けた共有フォルダ利用ユーザ又はRSシステムグループのアカウント・所属・権限を確認し、RSシステムサーバに共有フォルダ利用ユーザ又はRSシステムグループの登録・変更・削除を実施する。	-	-	-	◎	-	-	-	
152	共有フォルダ利用ユーザのアカウントロック解除	運用オペレータは、アカウントロック解除の依頼を受ける。該当ユーザを確認し、アカウントロック解除の処理を実施する。	-	-	-	◎	-	-	-	
153	共有フォルダの作成	運用オペレータは、共有フォルダ作成の依頼を受ける。依頼を受けたフォルダの作成場所を確認し、「エクスプローラ」にてフォルダ作成作業を実施する。	-	○	-	◎	-	-	10回程度/年	
154	共有フォルダのアクセス権限設定	運用オペレータは、フォルダのアクセス権限設定の依頼を受ける。設定対象のフォルダを確認の上、「エクスプローラ」にて権限の設定を実施する。	-	○	-	◎	-	-	30回程度/年	
155	情報セキュリティ事故への対処	システム運用・保守統括者、AP保守担当、HW/SW/NW保守担当、運用オペレータ及びヘルプデスクは、業務の遂行において情報セキュリティ事故の発生又はその恐れがある場合に、一次的対応、原因分析及び再発防止策検討を実施する。	◎	◎	◎	◎	◎	1回程度/月	1回程度/月	
156	情報セキュリティ対策の履行状況報告	システム運用・保守統括者、AP保守担当、HW/SW/NW保守担当、運用オペレータ及びヘルプデスクは、社内教育や周知状況を含む情報セキュリティ対策の履行状況について、定期的にシステム管理部門に報告する。	◎	◎	◎	◎	◎	12回程度/年	12回程度/年	
157	キャパシティ管理	設定	AP保守担当は、システム状況を鑑みて、キャパシティ情報収集ツールの取得対象を分析し、取得対象を選定する。HW/SW/NW保守担当は、キャパシティ情報収集ツールを設定する。システム運用・保守統括者は、キャパシティ情報収集ツールの設定作業を管理する。	○	◎	◎	○	-	1回程度/月	1回程度/月
158		分析・報告	運用オペレータは、キャパシティ情報の収集を支援する。AP保守担当は、収集されたキャパシティ情報を分析し、将来を見越したキャパシティプランニングを策定し、システム運用・保守統括者へ提出する。HW/SW/NW保守担当は、収集したキャパシティ情報の分析を支援する。システム運用・保守統括者は、AP保守担当が策定したキャパシティプランニングを評価し、評価結果をシステム管理部門へ報告する。	○	◎	○	○	-	1回程度/月	1回程度/月
159	利用者の情報発信	システム運用・保守統括者・AP保守担当は、システム管理部門からの指示に従い、利用者に発信すべき情報を作成する。ヘルプデスク担当者は内容を確認し、利用者に当該情報を発信する。	◎	◎	-	-	◎	40回程度/年	40回程度/年	
160	業務支援作業	日銀OCR歳入金データ入力	システム管理部門は、受領した日銀領収済通知書情報をチェックする。運用オペレータは、日銀領収済通知書情報を一括でシステムに登録する。また、日銀領収済通知書情報の保障項目にエラーがあった場合、領収済通知書データエラーリストを作成する。	○	○	-	◎	-	1回/日	1回程度/日
161		郵政OCR歳入金データ入力	運用オペレータは、受領した郵政領収済通知書情報をチェックし、郵政領収済通知書情報を一括でシステムに登録する。また、郵政領収済通知書情報の保障項目にエラーがあった場合、領収済通知書データエラーリストを作成する。	○	○	-	◎	-	1回/日	1回/日
162		労災行政情報管理システムNFS送信	運用オペレータは、適用台帳更新データを作成し、労災行政情報管理システムへNFS送信結果を確認する。	○	○	-	◎	-	1回/日	1回/日
163		労働基準行政情報システムNFS送信	運用オペレータは、監督・安全衛生用適用更新(差分)データ及び監督・安全衛生用継続一括更新(差分)データを作成し、労働基準行政情報システムへNFS送信結果を確認する。	○	○	-	◎	-	1回/日	1回/日
164		労災行政情報管理システム用媒体作成(月次)[最終開庁日]	運用オペレータは、労災行政情報管理システムに提供する以下のデータの媒体(DAT)を作成する。 ・縮小適用SAM ・削除SAM	○	○	-	◎	-	1回/月	1回/月
165		労災行政情報管理システム用媒体作成(月次・年次)[第1開庁日]	運用オペレータは、労災行政情報管理システムに提供する以下のデータの媒体(DAT)を作成する。 <月次> ・徴収KEYM ・RUN15 <年次> ・前年度適用台帳SAM ・前年度収納台帳SAM	○	○	-	◎	-	1回/年	1回/年
166		労災行政情報管理システム用媒体作成(月次)[統計]	運用オペレータは、労災行政情報管理システムに提供する以下のデータの媒体(DAT)を作成する。 ・徴収決定データ ・勤定科目データ	○	○	-	◎	-	1回/月	1回/月
167		労働市場センター業務室用媒体(DVD)作成	運用オペレータは、以下のデータを抽出し、労働市場センター業務室に提供する媒体(DVD)を作成する。 <月次>・労働市場センター業務室用適用データ・労働市場センター業務室用年度更新データ・労働市場センター業務室用適用更新(差分)データ <年次>・労働市場センター業務室用事務組合データ	○	○	-	◎	-	1回/月	1回/月
168		統計情報部事業場データ出力	運用オペレータは、統計情報部事業場データを出力し、媒体(CMT)を作成する。AP保守担当は、統計情報部事業場データ出力パッチファイルの修正・配備及び建設業概算保険料範囲中間データファイルの作成・配備を実施する。	○	◎	-	◎	-	2回/年	2回/年
169		CTLIST(徴収簿・徴収状況突合チェックリスト作成)	運用オペレータは、月次、組替決算期間(組替特別期)及び繰越決算期間(繰越特別期)の前に、徴収簿登記額を入力した内容と債権状況台帳を突合し、突合結果を印書する。また、労働局単位に差額がないことを確認する。	○	-	-	◎	-	32回/年	-
170		日本年金機構用媒体作成	運用オペレータは、日本年金機構用適用振分データを抽出し、日本年金機構に提供する媒体を作成する。	○	○	-	◎	-	1回/年	1回/年
170		労働基準行政情報システム用媒体作成	運用オペレータは、労働基準行政情報システムに提供する以下データの媒体(CMT)を作成する。 ・監督・安全衛生用適用更新(全件)データ ・監督・安全衛生用継続一括更新(全件)データ	○	○	-	◎	-	1回/年	1回/年
171		一括変更後労災行政情報管理システム用媒体作成	運用オペレータは、一括変更後に、労災行政情報管理システムに提供する以下のデータの媒体(DAT)を作成する。 ・労災保険給付用適用更新(全件)データ ・労災保険給付用RUN15データ ・労災保険給付用徴収KEYMデータ	○	○	-	◎	-	1回/年	1回/年

No.	作業項目(※2)	作業概要	作業担当者(※1)					作業頻度(※4)	
			システム運用・保守統括者	AP保守担当	HW/SW/NW保守担当	運用オペレータ	ヘルプデスク	本調達の受注者	
								システム運用・保守統括者	AP保守担当
	口座振替依頼一括登録	運用オペレータは、外部委託業者から受け渡された口座振替納付書送付依頼書データ(個別事業主)より、口座振替情報(個別事業主)を一括で登録する。システム運用管理者からの依頼により、運用オペレータはオペレーションを実施する。	-	-	-	◎	-	-	-
172	口座振替用金融機関メンテナンス	運用オペレータは、口座振替用金融機関のメンテナンスを実施する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	4回/年×2(検証環境・本番環境)	4回/年×2(検証環境・本番環境)
	口座振替結果全銀協データ一括登録	運用オペレータは、受領した口座振替結果情報を確認し、口座振替結果情報を一括でシステムに登録する。また、発生したエラー情報や入力件数等の処理結果は、処理結果ログファイルへ出力する。	○	-	-	◎	-	4回/年	-
173	口座振替納付書作成	運用オペレータは、口座振替納付書を作成し、システム管理部門によるチェック用口座振替納付書の確認がOKであれば外部委託先に提供する媒体(DVD)と全国労働保険事務組合連合会に提供する媒体(CD-R)を作成する。	○	○	-	◎	-	4回/年	4回/年
174	納付書(個別分)作成	運用オペレータは、期別納付書を作成し、チェック用期別納付書(個別分)の確認がOKであれば外部委託先に提供する媒体(DVD)を作成する。	○	○	-	◎	-	3回/年	3回/年
	納付書(委託)作成	運用オペレータは、期別納付書を作成し、チェック用期別納付書(委託)の確認がOKであれば外部委託先に提供する媒体(DVD)を作成する。	○	○	-	◎	-	2回/年	2回/年
175	継続メリットマスターデータ登録	運用オペレータは、継続メリットマスター・継続メリット適用事業名簿を基に、継続メリットのデータをシステムに登録する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	2回/年×2(検証環境・本番環境)	2回/年×2(検証環境・本番環境)
176	報告書作成日情報作成	運用オペレータは、報告書作成日パラメータファイルの内容を基に、報告書作成日情報に登録する。AP保守担当は、報告書作成日パラメータファイルを作成する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
177	徴収簿再送ファイル作成	運用オペレータは、官庁会計システムで登記エラーとなった徴収簿情報を徴収簿メンテナンス画面にて修正し、エラーの解消した徴収簿情報を官庁会計システムへ送信する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	原則発生しない	原則発生しない
	年度更新申告書作成	運用オペレータは、年度更新申告書を作成し、チェック用年度更新申告書の確認がOKであれば外部委託先及びハローワークシステムに提供するDVDと会計検査院に提供する媒体(DVD)を作成する。	○	○	-	◎	-	1回/年	1回/年
178	債権管理(組替決算)	運用オペレータは、徴定情報及び収納情報に対して組替処理を行う。徴定情報で収納未済がある場合は、徴定年度が前々年度以前の収納未済額を徴定額として、次年度へ繰越す。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
179	債権管理(繰越決算)	運用オペレータは、徴定情報及び収納情報に対して繰越処理を行う。徴定情報で収納未済がある場合は、徴定年度が前年度の収納未済額を徴定額として、次年度へ繰越す。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
	日本年金機構事業データ突合	運用オペレータは、社会保険適用事業所情報と労働保険適用事業場情報を突合せ、未手続事業場の候補を抽出する。	○	○	-	◎	-	1回/年	1回/年
180	収納一括充当	運用オペレータは、年度更新申告書の入力期間中、収納先行された年度更新申告書により過納状態となっている徴収決定情報を一括して充当する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
181	事務組合一括変更	運用オペレータは、事務組合整理番号変更情報ファイルを基に、事務組合整理番号の一括変更を実施する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	4回/年×2(検証環境・本番環境)	4回/年×2(検証環境・本番環境)
	労働保険番号一括変更	運用オペレータは、年に2回作成する労働保険番号一括変更候補データを基に労働保険番号を一括変更する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	3回/年×2(検証環境・本番環境)	3回/年×2(検証環境・本番環境)
182	継続一括情報一括変更	運用オペレータは、継続一括情報一括変更データを基に、継続一括情報を一括変更する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
183	住所一括変更	運用オペレータは、住所変更情報ファイルを基に、住所を一括変更する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
	産業分類一括変更	運用オペレータは、産業分類変更情報ファイルを基に、産業分類を一括変更する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
184	パラメータファイル変更	運用オペレータは、年次で、パラメータファイル、Aコンポーネントファイルを変更し、デプロイ作業により配備先サーバに変更したパラメータファイルを配備する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
185	システム運用状態マスタ更新	運用オペレータは、年次で、システム運用状態テーブルを登録する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
	汎用メンテナンス(監督署安定所)	運用オペレータは、年次で、監督署安定所情報をメンテナンス機能により登録する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
186	業務カレンダーマスタ更新	運用オペレータは、年次で、業務カレンダーテーブルへ翌年度情報を追加登録する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
187	汎用メンテナンス(料率系マスタ)	運用オペレータは、年次で、労災料率、雇用料率、特別加入労災料率、非業務災害率、一般拠出金料率をメンテナンス機能により登録する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
	審査定型文の登録、修正、削除	AP保守担当は、審査定型文の登録について、検証環境での動作確認及び本番環境への反映を実施する。	○	◎	-	-	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
188		AP保守担当は、審査定型文の修正について、検証環境での動作確認及び本番環境への反映を実施する。	○	◎	-	-	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
189		AP保守担当は、審査定型文の削除について、検証環境での動作確認及び本番環境への反映を実施する。	○	◎	-	-	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
	電子申請宛先情報の管理	AP保守担当は、労働局・労働基準監督署・公共職業安定所の統廃合及び所在地・名称変更を契機として宛先情報を更新し、e-Govに公開する。運用オペレータは、手続一括登録ファイルを媒体(CD)に書き込む。	○	◎	-	◎	-	1回程度/年	1回程度/年
190	手続情報・申請書様式情報の登録・更新	AP保守担当は、法令改正等を契機として手続情報・申請書様式情報を新たに作成又は更新し、e-Govに公開する。運用オペレータは、手続一括登録ファイルを媒体(CD)に書き込む。	○	◎	-	◎	-	2回程度/年	2回程度/年
191	手続情報の削除	運用オペレータは、法令改正等を契機として不要となった手続情報を削除し、e-Govに公開する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
	申請書様式情報の更新(不定期)	AP保守担当は、様式の改訂等を契機として申請書様式情報を更新し、e-Govに公開する。運用オペレータは、手続一括登録ファイルを媒体(CD)に書き込む。	○	◎	-	◎	-	1回程度/年	1回程度/年
192	業務バッチ処理終了確認	運用オペレータは、更新系、検索系処理閉塞後の業務バッチ処理の終了を確認し、基盤系業務バッチを開始する。	○	-	-	◎	-	1回/日	-

No.	作業項目(※2)	作業概要	作業担当者(※1)					作業頻度(※4)	
			システム運用・保守統括者	AP保守担当	HW/SW/NW保守担当	運用オペレータ	ヘルプデスク	本調達の受注者	
								システム運用・保守統括者	AP保守担当
193	処理状態管理マスタ更新	運用オペレータは、組替決算直前に、処理状態管理テーブルの法定納期等を翌年度用に更新する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
	労災行政情報管理システム用媒体作成(年次)統計	運用オペレータは、労災行政情報管理システムに提供する微定額ファイルデータの媒体(DAT)を作成する。	○	○	-	◎	-	1回/年	1回/年
194	金融機関情報更新	運用オペレータは、金融機関コードマスタ(当月差分)ファイルから、金融機関コードマスタを作成する。作成した金融機関コードマスタを読み込み、金融機関情報を更新する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/月×2(検証環境・本番環境)	1回/月×2(検証環境・本番環境)
195	汎用マスタメンテナンス(延滞金利率)	AP保守担当は、年次で、延滞金利率情報をマスタメンテナンス機能により登録する。運用オペレータは、保留状態である業務処理終了イベント送信ジョブネットの保留解除等を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
	汎用マスタメンテナンス(社会保険業態区分マスタ)	運用オペレータは、随時、社会保険業態区分マスタをマスタメンテナンス機能により登録する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
196	申請書様式情報の更新(年次)	AP保守担当は、次年度向けに申請書様式情報を更新し、e-Govに公開する。運用オペレータは、手続一括登録ファイルを媒体(CD)に書き込む。	○	◎	-	◎	-	1回/年	1回/年
197	徴収決定・収納状況一覧表データ作成	運用オペレータは、随時、徴収決定・収納状況一覧表(その他)用のデータを作成する。	○	○	-	◎	-	1回程度/年	1回程度/年
	RUN15(抽出分)報告書作成	AP保守担当は、随時、RUN15(抽出分)報告書EXCELファイルを作成する。	○	◎	-	-	-	1回/月	1回/月
198	労災行政情報管理システムNFS受信	運用オペレータは、労災行政情報管理システムより、改定確定保険料決定通知書データについてNFS受信結果を確認する。	○	○	-	◎	-	1回/日	1回/日
199	改定確定保険料決定通知書データ登録	運用オペレータは、労災行政情報管理システムからの改定確定保険料決定通知書データを基に、改定確定保険料決定通知書情報をシステムに登録する。	○	○	-	◎	-	1回/日	1回/日
	総務省用データ(媒体(DVD))作成(月次)	運用オペレータは、総務省に提供する総務省統計局統計調査部用更新(全件)データの媒体(DVD)を作成する。	○	○	-	◎	-	1回/月	1回/月
200	RSシステム向け保険料申告書未処理事業一覧表作成	運用オペレータは、依頼を受理した都道府県に対する保険料申告書未処理事業一覧表を作成するため、ジョブ管理ソフトウェアのスケジュール及び抽出する都道府県番号を設定する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	4回/月×2(検証環境・本番環境)	4回/月×2(検証環境・本番環境)
201	RSシステム連携データ再実行	運用オペレータは、RSシステム連携データ抽出失敗時又はシステム運用管理者から依頼があった場合、翌日以降にデータ抽出の再実行を行うためジョブスケジュールを設定する。AP保守担当は、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	◎	-	20回程度/年	20回程度/年
	重要イベントに向けた検証環境での事前リハーサル	AP保守担当は、適用徴収システムにおける重要イベントに向け、事前に検証環境でリハーサルを行い、対象アプリケーションに問題がないことを確認する。	○	◎	-	-	-	20件程度/年	20件程度/年
202	サーバのパスワード変更作業	AP保守担当は、事業場環境、検証環境及び本番環境サーバについて、システムユーザのパスワードが期限切れとなる前に、パスワード変更作業を実施する。	○	◎	-	-	-	4回/年×3サーバ	4回/年×3サーバ
203	MPN国庫金接続試験に係る作業	AP保守担当は、MPN国庫金接続試験に係る試験データ作成、試験環境構築及び試験対応を実施する。	○	◎	-	-	-	1回/年	1回/年
	e-Gov検証環境(仕様変更環境及び保守環境)への様式登録作業	AP保守担当は、電子申請仕様変更環境及び保守環境について、改修を行った電子申請様式の登録作業等を実施する。また、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	-	-	4回程度/年×2(検証環境・本番環境)	4回程度/年×2(検証環境・本番環境)
204	電子申請停止用CSVファイルの作成	AP保守担当は、電子申請機能の停止をe-Gov運用センター宛に依頼するための申請用CSVファイルを作成する。また、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	-	-	4回程度/年×2(検証環境・本番環境)	4回程度/年×2(検証環境・本番環境)
205	法定点検対応	運用オペレータ及びAP保守担当は、電気事業法に基づく自家用電気工作物保安管理規定により、毎年1回サーバ等設置センタを全館停電し、電気設備等保守点検を実施することとなっているため、実施前後におけるサーバ群のシャットダウン及び再起動を実施する。	○	◎	○	◎	-	1回/年×120サーバ ※夜間・休日対応	1回/年×120サーバ ※夜間・休日対応
	開発業者瑕疵対応資料の取込テスト	AP保守担当は、開発業者が瑕疵対応した資料について、本番環境リリース前に検証環境にて取込テストを実施する。	○	◎	-	-	-	5回程度/月	5回程度/月
206	改修対応事業者資料の取込テスト	AP保守担当は、改修対応事業者が修正した資料について、本番環境リリース前に検証環境にて取込テストを実施する。	○	◎	-	-	-	5回程度/年	5回程度/年
207	外部連携テスト	AP保守担当は、他システムの改修、更改及び定期的な動作確認試験等に伴い、アプリケーションを含む動作確認を実施する。また、関連事業者で対応が必要な事項について、関連事業者に協力依頼等の調整を実施する。	○	◎	-	-	-	6回程度/年	6回程度/年
	電子申請入力項目説明コード書換え	AP保守担当は、原本保管DBサーバにログオンし、電子申請マスタ情報(入力項目説明)CSVファイルを修正する。電子申請マスタメンテナンスツール(入力項目説明書換え)を実行する。また、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	-	-	1回/年×2(検証環境・本番環境)	1回/年×2(検証環境・本番環境)
208	電子申請様式情報メンテナンス	AP保守担当は、運用管理端末よりジョブ管理ソフトウェアを起動する。電子申請様式情報メンテナンスジョブを即時実行した後、当該ジョブの保留を解除する。当該ジョブ終了後、実行結果を確認する。また、検証環境での動作確認を実施する。	○	◎	-	-	-	4回/年×2(検証環境・本番環境)	4回/年×2(検証環境・本番環境)
209	適用徴収システムの保険料率及び年次年度の切替作業	AP保守担当は、電子申請仕様変更環境の適用徴収システムの保険料率及び年次の切替作業を実施する。	○	◎	-	-	-	1回/年	1回/年
	金融機関マスタCSVファイルの作成依頼	AP保守担当は、金融機関マスタファイルCSVの内容を確認する。問題がある場合は、適宜修正して、別媒体に記録する。	○	◎	-	-	-	1回/月	1回/月
210	本番データのデータ抽出作業	AP保守担当は、システム運用管理者からの依頼により、本番環境の業務データを抽出し、その結果を報告する。	○	◎	-	-	-	6回程度/月	6回程度/月
211	本番データのデータ補正	AP保守担当は、システム運用管理者からの依頼により、本番環境の業務データに対して補正作業を実施する。本番環境への補正作業は検証環境で確認後に作業を実施する。	○	◎	-	-	-	4回程度/月	4回程度/月
	ドキュメントの補正作業	AP保守担当は、運用手順書等のドキュメントに軽微な修正が発生した場合、システム運用管理者からの依頼により、ドキュメントの補正作業を実施する。	○	◎	-	-	-	2回程度/月	2回程度/月
212	本番環境のサーバ環境の設定変更作業	HW/SW/NW保守担当は、システム運用管理者からの依頼により、本番環境のサーバ環境の設定変更を実施する。本番環境への設定変更作業は検証環境で確認後に作業を実施する。AP保守担当は、設定作業を支援する。	○	○	◎	-	-	3回程度/月	3回程度/月
	MPN金融機関情報の登録	AP保守担当は、システム運用管理者からの依頼により、本番環境のMPN金融機関情報の登録を実施する。本番環境への設定変更作業は検証環境で確認後に作業を実施する。	○	◎	-	-	-	4回程度/年	4回程度/年



No.	作業項目(※2)	作業概要	作業担当者(※1)					作業頻度(※4)	
			システム運用・保守統括者	AP保守担当	HW/SW/NW保守担当	運用オペレータ	ヘルプデスク	本調達の受注者	
								システム運用・保守統括者	AP保守担当
213	外字追加	AP保守担当は、アプリケーション関連外字追加作業の場合、システム運用管理者からの依頼により、作業計画書及びオペレーション指示書を作成し、検証環境への外字追加作業を実施する。また、本番環境への外字追加作業に立ち会う。HW/SW/NW保守担当は、プラットフォーム関連外字追加作業の場合、システム運用管理者からの依頼により、作業計画書及びオペレーション指示書を作成し、検証環境への外字追加作業を実施する。また、本番環境への外字追加作業に立ち会う。運用オペレータは、作業計画書、オペレーション指示書及び運用手順書を基に、本番環境への外字追加作業を実施する。	○	◎	◎	◎	-	1回程度/年	1回程度/年
214	ジョブスケジュール作成	AP保守担当は、システム運用管理者からの依頼により、ジョブスケジュールを作成する。	○	◎	-	-	-	1回/年	1回/年
215	情報セキュリティ監査支援	AP保守担当及びHW/SW/NW保守担当は、第三者機関等による情報セキュリティ監査を受ける場合に、システム管理部門の対応を支援する。	○	◎	◎	-	-	1回程度/年	1回程度/年
	情報セキュリティ対策実施	AP保守担当及びHW/SW/NW保守担当は、保守対象のアプリケーションにおいて、改善の必要性が指摘された場合に、情報セキュリティ対策を実施する。	○	◎	◎	-	-	1回程度/年	1回程度/年
216	RS-J・事務組合担当者コードの変更	AP保守担当は、RS-J・事務組合担当者コードの変更に係る更新及び確認用のSQL文を作成し、保守サーバにて検証する。その後、該当する労働局のRSシステムサーバにてデータ更新作業を実施する。更新後、動作確認を実施する。	○	◎	-	-	-	30回程度/年	30回程度/年
217	RS-B・キー変更情報削除	AP保守担当は、RS-B・キー変更情報データの削除に係る更新及び確認用のSQL文を作成し、保守サーバにて検証する。その後、該当する労働局のRSシステムサーバにてデータ更新作業を実施する。更新後、動作確認を実施する。	○	◎	-	-	-	4回程度/年	4回程度/年
	RS-B・文書種類マスターデータの削除	AP保守担当は、RS-B・文書種類マスターデータの削除に係る更新及び確認用のSQL文を作成し、保守サーバにて検証する。その後、該当する労働局のRSシステムサーバにてデータ更新作業を実施する。更新後、動作確認を実施する。	○	◎	-	-	-	4回程度/年	4回程度/年
218	RS-J・総コンデータ等事務組合連携データ取込み支援	AP保守担当は、労働局職員が行うRS-J・総コンデータ等事務組合連携データ取込みについて、エラーデータ発生時等に該当する労働局のRSシステムサーバにてデータ調査、対応方法を回答する。	○	◎	-	-	-	40回程度/年	40回程度/年
219	RS-J・メリット料率の設定支援	AP保守担当は、労働局職員が行うRS-J・メリット料率取込みについて、エラーデータ発生時等にデータ調査、対応方法を回答する。	○	◎	-	-	-	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)
	RS-J・保険料率情報の設定	AP保守担当は、RS-J・雇用保険料率、労災保険料率、一般拠出金料率を労働局RSサーバに追加登録する。	○	◎	-	-	-	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)
220	RS-J・延滞金率情報の設定	AP保守担当は、RS-J・延滞金率を労働局RSサーバに追加登録する。	○	◎	-	-	-	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)
221	RS-J・報奨金情報の設定	AP保守担当は、RS-J・報奨金定額、報奨金定率を労働局RSサーバに追加登録する。	○	◎	-	-	-	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)
	RS-J・イベント日情報の設定	AP保守担当は、RS-J・法定納期や督促期限日等のイベント日の情報を労働局RSサーバに追加登録する。	○	◎	-	-	-	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)
222	産業分類情報の一括変更	AP保守担当は、労働局のRSサーバの産業分類情報を一括変更する。	○	◎	-	-	-	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)	1回程度/年×47拠点(拠点サーバ) 1回程度/年×1サーバ(保守サーバ)
223	年度切り替え(RS-C・RS-B・RS-J)時の対応支援	AP保守担当は、労働局のRSサーバに接続し、RS-C・RS-B・RS-J毎の年度切り替え状況を監視する。	○	◎	-	-	-	20回/年×47拠点(拠点サーバ)	20回/年×47拠点(拠点サーバ)
224	サンプル帳票(RS-C・RS-B・RS-J)の印刷	AP保守担当は、RSシステムの保守クライアント端末よりRS-C・RS-B・RS-Jのサンプル帳票印刷を行う。帳票印刷に必要なデータが不足している場合にはデータ入力を行う。また、必要に応じて印刷帳票にマスキングを行う。	○	◎	-	-	-	35回程度/年	35回程度/年
224	システムインストーラの作成	AP保守担当は、最新資料を基にインストーラを作成する。また、必要な場合にインストール手順書、動作確認手順書を改訂する。	○	◎	-	-	-	2回程度/年	2回程度/年
225	システムインストール端末の入替対応	AP保守担当は、RSシステムインストール端末の入替時にRSシステムの最新資源の配布及び労働局職員による初回動作確認を支援する。	○	◎	-	-	-	3回程度/月	3回程度/月
	RSシステムに関する調査	AP保守担当は、RSシステムに関する調査依頼や質問について調査し回答する。	○	◎	-	-	-	40回程度/月	40回程度/月
226	RSシステムと他システムとのデータ突合作業支援	AP保守担当は、データ抽出依頼に対して、該当する労働局のRSシステムサーバにてデータを抽出・集計し、他システムとのデータ突合用データを作成する。	○	◎	-	-	-	15回程度/年	15回程度/年
227	RSシステム利用に関する提言	AP保守担当は、RSシステムの効率的な使用方法を提言する。	○	◎	-	-	-	4件程度/月	4件程度/月
	改善要望一覧作成	ヘルプデスクは、ヘルプデスク経由の改善要望を一覧表として作成し、システム管理部門に報告する。	◎	-	-	-	◎	1回程度/月	-
228	事業場公開システムに関するお知らせメッセージ更新	運用オペレータは、システム運用管理者からの依頼により、メンテナンス予定の変更等のため、事業場公開機能のトップページに表示されるお知らせメッセージを更新する。	-	-	-	◎	-	-	-
229	事業場公開機能閉塞	運用オペレータは、障害発生時や公開用適用事業場アップロード前に、システム運用管理者からの依頼により、事業場公開機能を停止する。	-	-	-	◎	-	-	-
	公開用適用事業場情報アップロード	運用オペレータは、月初の開庁日に、システム運用管理者からの依頼により、徴収DBサーバ上の公開用適用事業場情報ファイルを事業場公開DBサーバ上にアップロードする。公開用適用事業場アップロードジョブを実行し、事業場公開DBサーバ上の公開用適用事業場情報ファイルの内容をDBへ登録する。	-	-	-	◎	-	-	-
230	事業場公開機能閉塞解除	運用オペレータは、障害対応の完了後や公開用適用事業場アップロード完了後等の際に、システム運用管理者からの依頼により、事業場公開機能を開始状態にする。	-	-	-	◎	-	-	-
231	MPN特異日対応(MPN休止時間/MPN臨時休止日)	AP保守担当は、システム運用管理者からのMPN特異日終了後の開局(ファイル転送)予定時間の情報と依頼により、「作業計画書」「作業手順書」を作成する。MPN開局(ファイル転送)ジョブネットに対し、スケジューリング設定を実施する。また、MPN特異日終了後、MPN開局(ファイル転送)が正常に終了していることを確認する。	◎	◎	-	◎	-	2回/年	2回/年